



3 3期生のみんなへ

学校が休校になって、どんなふうに過ごしていますか。クラブもできないので、本当に残念です。3年に向かう春休み、しっかり練習して試合でいい成績を残したいと思っていた人も多いはず。引退前の大切な時期に練習できないなんて、本当につらい。つらいよねえ。

でも、今は嘆いてばかりいても仕方ありません。せめてぽっかり空いたこの時間を有効に使おう。クラブをやっていた人も、やっていなかった人も、3年になれば、進路決定が迫ってきます。もう準備は始めているよね。進学希望だけど、具体的に何をやればいいのかわからないという人のために、33期生の担任団から、それぞれの教科について、勉強の方法についてのメッセージを送ります。自分に必要な部分をしっかり読んで、明日からではなく今から、勉強を始めよう。これこそ「()が馬」「()はあざなえる縄のごとし」です。災い転じて()となそう。

①国語科

◎ 4年制大学（文系）を目指す人は

この春休みに自分の希望する大学の過去問題をまずやります。

その問題で7割は取れないと合格できないと思ってください。

その力をあと半年でつけないといけません。そのためには問題集を解いていきます。まずは、春休み中に仕上げられる程度の薄い問題集を本屋で買ってください。記述問題も一問くらいあり、解説が詳しいものがいいです。問題集を解くときは、本文にアンダーラインや○印をつけながら、文脈（接続詞）やキーワードをつかみながら読みます。そして、問題を解いた時間の倍の時間をかけて、解説をよく読み、なぜ間違ったのか、自分の考え方のどこがおかしかったのか、理解するようにしてください。それができないと、いくつ問題を解いても無駄です。読解力は考え方のトレーニングです。しんどくても自分で考え、読み方のスキルを磨いてください。漢字や文学史などの知識は隙間時間を利用して覚えていこう。古典のある人はまず単語。ゴロゴ等、単語帳を買って覚えよう。そして、やはり基礎の問題集をやることをおすすめします。

◎ 短大や看護系を目指す人は

基本的に問題集をやっていくのは同じですが、4年制よりは、基礎的な問題集でいいです。学校によるので、過去問は絶対にやりましょう。漢字などが多く出される学校もあります。看護系の場合は医療系の語句や話題が取り上げられることが多いです。漢字はキーワード漢字の必須語、頻出語を覚えましょう。文学史など、基礎的な知識を出題する学校もあります。自分の志望校に応じて覚えるところは覚え、読解力もつけていこう。

今は時間を持て余しているのではないかと思います。ゲームばかりやって、ゲーム依存症にならないでね。この機会に読書をするのはどうでしょう。小説でも、自分の興味のある分野の新書などでもいいでしょう。2年で読んだ、夏目漱石、井伏鱒二、宮澤賢治などの名作を読んでもいいし、読みやすい石田衣良や重松清でもいいですね。図書館で借りてもいいし、古本屋でさがしてもいい。是非、いい本と出会ってください。

②英語科

①単語

【コーパス 1800 の単語帳を 4 月終わるまでに最低 1 周】

最低でも 2500～3000 語は入試には必須です。皆さんは中学 1 年生から高校 2 年生までの 5 年間で何語覚えられましたか？おそらく、1000 語～1500 語ほどだと思います。あと半年で倍にしないといけません。半年で 1500 語単語を覚えようと思うと、1 日約 8 個覚えなければなりません。1 日さぼればこの 8 個がたまっていき、どうしようもなくなりますよ。毎日コツコツと覚えましょう。さて、コーパスの単語帳を 1 周と書きましたが、以下の手順に従ってください。（とにかく単語の意味のみを覚えるための方法）

1. 4 月末までに 1 周終わらすために計画を立てる。毎日どのぐらいやれば終わるか計算する。最初は 5 ページくらいずつがいいかも。（慣れてきたら増やす。）
2. 例文は見なくていいので、英単語を見る→意味をいう という単純な作業を行う。
3. 単語の意味が 2 秒以内に出てこなかったものに印をつけておく。
4. 翌日、その日の範囲に進む前に前日の範囲の印をつけたもののみ復習を行う。

1～4 を繰り返し行う。

*1 周この方法で行ったら、次は 1 日に進む範囲を増やして、同じ要領でもう一周するとよいでしょう。この際、わからなかった単語に印をつけるときは 1 周目とは異なる色で印をつけましょう。自分がどうしても覚えられない苦手な単語がわかってきます。

②文法

【VISION QUEST を一周】

VISION QUEST の目次を開くと 24 つの章があると思いますが、毎日 1 つずつ読むこと。読んで理解したことは必ず独り言でもいいので誰かに説明するつもりでしゃべる。

また、スクランブルを持っている人は 1 周終わらすつもりでときなおしを行うことが望ましいです。

③長文

【大学入試過去問の長文を 1 日 1 つ読む】

長文を読むためには①の単語、②の文法が絶対に必要です。さらに、長い英文を読むことに対する慣れも必要になってきます。必ず毎日 1 つずつ読み、わからなかった単語の意味を調べたり、ストップウォッチで読むのにかかる時間を計ってみたりしてください。

③社会科

『薄い問題集を1冊買う』（日本史・世界史）

歴史の勉強は「インプット」と「アウトプット」の繰り返しが基本です。違いをざっくり説明すると、知識を頭に入れるのがインプット、頭に入った知識を活用するのがアウトプットです。授業では「インプット」の時間が大半です。世界史にしても日本史にしても教える内容が膨大なのでやむを得ないことです。しかし、テスト・入試ではアウトプットの能力が問われます。テスト勉強をいくら頑張っても点数に伸び悩むのは、アウトプットが足りていないことが主な原因です。じゃあ授業内で時間が取れない「アウトプット」の勉強をいつすればよいと思いますか？ 今でしょ？

まず問題集を一冊買いましょう。薄いもので構いません。おすすめは、

●世界史選択者⇒『詳説世界史学習ノート 上』（山川出版社）定価 700 円（税別）

●日本史選択者⇒『詳説日本史学習ノート 上』（山川出版社）定価 700 円（税別）

『詳説日本史学習ノート 下』（山川出版社）定価 700 円（税別）

です。大学入試に十分対応できる内容でありながら、分厚すぎない良質な問題集となっています。問題は基本的にすべて教科書の単語抜き出しなので、定期考査の勉強にも活用可能です。

問題集を買ったら、2年生で習った範囲を2周しましょう（まだ習っていない範囲は飛ばしてOKです）。1年間かけてインプットした知識をとにかくアウトプットしていきます。そして間違えた問題は、教科書・資料集・ノート・プリントを読み返して復習します。

来年度の入試まで何周もする前提で、問題集には答えを書き込まず、問題集用のノートをつくりましょう。ノートも薄いものを用意すると、「1冊分やり終えた！」という達成感を早く味わうことができるのでモチベーションの維持にも効果的です。

問題集は1冊で十分です（上で紹介したものは上下セットです）。本屋に行くとあれもこれもと気を取られるかもしれませんが、1冊で入試には十分対応できますから、1冊を完璧にするつもりで2年生の日本史 or 世界史の総復習をこの春休みに取り組んでください。

④数学科

◎理系へ

3年生では受験がひかえています。授業で手一杯では困ります。春休みでしっかり準備しておくことが必須です。

具体的には、数学ⅠAⅡBの復習をきっちりしておいてください。2年生の数学Ⅱを受けているときに感じたと思いますが、習ったことはできる前提です。3年生では数学Ⅲをやりますが、数学ⅠAⅡBは理解している前提で進めます。3ROUND（A問題中心）やはぎとり式の基本問題を中心に復習しておいてください。

◎数学演習受講者へ

数学ⅠAをしっかり復習してください。数学演習は新しいことを習うのではなく入試レベルの問題を演習することがメインです。3ROUNDⅠ+AのA問題の*がついているところ解いておいてください。

◎上記の二つに当てはまらない人

今まで習った基本的な計算をしっかり復習しておいてください。中学校の復習や3ROUNDの各分野の最初のほうのページを解いておくといいスタートダッシュがきれると思います。

⑤家庭科

『生活ハンドブック』（資料集）、捨てていませんか？？？

「自分の進路は、家庭科とは関係ないから・・・」と、思って読み飛ばさないでください。

たとえば、3 学期には、法律や経済に関係する授業をしました。「家庭基礎」という科目で学習してきたことは、いろいろな学問分野の基礎になっています。

この本は、家庭科の資料集ですが、奇数ページ下部の『小論文ココが出題された』というコーナーに掲載されている小論文の過去問も、栄養や保育系の学部学科のものだけでなく、「法学部」「経済経営学部」「経営情報学部」「理工学部」「工学部」「農学部」「医学部」「看護学部」「歯学部」「国際総合科学部」「教育学部」「人間福祉学部」等々、様々な学部のもものが取り上げられています。

長文の志望理由書や、面接、小論文などが課される入試が増えています。自分の志望分野にかかわるページを、まずは熟読してください。余力があれば、教科書ももう一度読んだり、その分野について、インターネットを駆使して更に新しい情報を仕入れたりしましょう。

進学希望の人だけではありません。

就職希望の人こそ、面接などが一切課されないところはないと思います。公務員として、また会社員として、多くの人の生活の何かを担うことになります。

特に小論文が入試科目にある人は、時間のある春休みのうちに、書く練習を始めなければ、間に合いません。この資料集にある過去問に限らず、自分の志望大学の過去問でも、小論文の問題集など、練習問題が載っているものはたくさんあります。しっかりと調べ、一題は規定字数で書いてみましょう。

この練習は、小論文のためだけではありません。

面接で志望分野についての知識や意欲を問われた時、しっかりとした志望理由書や学習計画書などを書く時にも、その練習は生きてきます。

小論文が入試科目にある人は、志望分野に限らず、過去問で問われ方を確認してみてください。どういう風に、出題なされていますか？

「～の解決策についてあなたの考えを述べよ」

「～の現状について分析し、今後の対策についてあなたの考えを述べよ」

「～の本来の目的をあげた上で、問題点についてどうすればよいか、あなたの考えを述べよ」

思い付きの作文で書ける内容ではありません。

例えば、上にあげた一問目。

解決策を述べるには、その問題の本質を知っている必要があります。小論文の問いになるということは、今はまだ、その問題は解決されていないということになりますが、なぜ今、その問題は、解決されていないのでしょうか。一つは、解決策が浮かぶかもしれません。でも、高校生の自分が考えられる解決策なら、簡単に実行できるはず。なのに、それが今、実行されなかったり、十分に効果を発揮していなかったりするのなぜでしょう。

「作文」ではない、そういった問題の本質をとらえた「論文」を書くためにしなければいけない準備、面接などで「感想」ではなく、しっかりした「意見」を述べるための準備は、今から始めないと間に合いません。

長い春休み、進路に向けて、しっかりと知識を身につけ、考え、準備しましょう。

⑥理科

突然、学習する権利（部活動も含む）を強制的に奪われ、1か月以上も放り出された君たちが、失敗しないように、いくつかアドバイスをしたいと思います。このような困難な状況におかれた時の、各個人の、行動・態度こそが、人としての本当の実力の差が出るところです。長い休校期間の時間の使い方を、自分で考えて、自分で行動することができるチャンスだと前向きにとらえ、勇敢に、進路決定に向けてチャレンジしていきましょう。

理科が入試で必要なのは、理系の学部を希望する人か、文系で農学部などを目指す人かと思います。まず自分の、行きたい大学・学部のHPにアクセスし、受験科目を確認するところから始めます。今年の11月から始まる、学校推薦型選抜の場合、多くの場合、「2教科受験」で、いろいろなパターンの入試がありますが、「数学＋英語」、「数学＋理科」、「英語＋理科」などの組み合わせがあります。来年の2月の「一般選抜」では、3教科受験（英語・数学・理科（1科目or2科目）になります。ここで理科というのは、工学部系統の場合は、物理（＋物理基礎）、または、化学（＋化学基礎）の選択が多く（場合により2科目とも）、農学部や生命科学系では、生物（＋生物基礎）が選択できる場合もあります。物理・化学・生物のどの科目で受験するのかを、3月前半に決定しましょう。決定の方法ですが、現在の君たちの実力で合格最低点をとるのは困難だと思いますが、まずは、学校推薦型選抜（今年の公募推薦）の希望校の入試問題を、HPからダウンロードするか、進路指導室前にある、無料配布の過去問題集（通称、過去問）を手に入れて、どの日程でもよいので、同一問題を3部コピーして、1回目は現在の自分の実力で解答をして（習っていない分野もあるので、全部できなくて当然）、2回目は教科書を見ながら解答して、（このやり方でもできない問題は多数あると思います）3回目以降は付録の解答を見ながら、解き方や、正解にたどりつくまでのプロセスを、納得できるまで、繰り返しやり直して下さい。その繰り返しトレーニングの中で、その科目が、「自分に合う・合わない」「これなら入試本番までになんとかなりそう」「自分にはこれは、無理」など、感覚的なところでも、科目が絞られてくると思います。科目が絞れたら、あとはひたすら、休校期間中に、基礎レベルの練習問題を繰り返し、やり続けるしかありません。ここで注意することは、「正しいやり方」で行う事です。自分の頭で考える事をせず、答えを見るだけ、写すだけはまったくの無駄。難しい事、無理な事はせず、休校期間中は基礎を固めることに徹底します。これが習慣化すれば、3年の4月8日のスタートをニコニコ顔で、迎える事ができます。逆に、休校で時間を持て余し、部活動もないので「バイトをたっぷりしよう」とか、「何もやらない人」は、地獄へ一直線に落下していくでしょう。つまり、結局いつまでたっても、時間だけが無駄に過ぎていき、指定校で受ければラッキーの安易な考えで、失敗し、最終的には、卒業式の時に、どこにも次の自分の行き場がなく、もうその時には取り返しのつかない事態に自分が追い込まれていることに気が付いて、強烈な後悔をしている事になるでしょう。